

第2期中期目標 構成

赤字：第3期中期目標に継続して掲載する指標
 黒字：第3期中期計画に掲載を検討している指標
 ※既に達成した指標や、進捗状況に応じて修正が必要な指標は今後精査する予定。

大項目	中項目	小項目	目標			
			項目		目標値	
I 患者にとって最適な医療の提供 総合・西和は地域の医療の拠点、リハは奈良県の回復期医療の拠点としてそれぞれの機能を最大限発揮し、また、常に患者サービスの向上に取り組み、患者にとって最適な医療を提供すること。	1 患者の視点に立った医療サービスの提供 3病院は、患者にとって最適な医療の提供のため、入院・外来や診療科などそれぞれの部門に応じ、常に患者の視点に立った医療サービスの向上に取り組むこと。		主要	患者調査で「満足」と回答した割合（入院・外来別）の向上	期末	入院90%以上 外来90%以上
			関連	患者サービス向上委員会で検討し改善した件数の増加	期中	前年度より増加
			関連	患者調査で診療の待ち時間について「不満」と回答した割合の改善（低下）	期中	前年度より低下
	2 地域の医療拠点としての機能の充実 総合は北和地域、西和は西和地域における医療拠点として、「断らない救急医療」を充実すること。また、がん医療など高度・先進医療と、小児や周産期、精神、感染症、糖尿病医療など特殊部門等の医療を充実すること。	① 断らない救急医療の充実	主要	救急搬送受入率100%達成を目指す【総合・西和】	期末	100%達成を目指す
			関連	北和・西和地域における重症以上の傷病患者搬送事案において、医療機関の受入の照会を行った回数4回以上の割合の改善（低下）【総合・西和】	期末	2.70%
		② 質の高いがん医療の提供	主要	院内がん治療件数の増加（悪性新生物手術・外来化学療法【総合・西和】、放射線治療【総合】）	期末	悪性新生物手術 1,600件 外来化学療法 3,800件 放射線治療 8,000件
			関連	がん医療における高難度（E・D難度）手術の実施件数の増加【総合】	期中	前年度より増加
		③ 周産期医療の充実	主要	ハイリスク妊婦の県内搬送率100%達成を目指す【総合】	期末	100%達成を目指す
			関連	ハイリスク分娩件数の増加【総合】	期中	前年度より増加
			主要	新生児の県内搬送率100%達成を目指す【総合】	期末	100%達成を目指す
		④ 小児医療の充実	主要	小児患者の救急搬送受入率100%達成を目指す【総合・西和】	期末	100%達成を目指す
			関連	小児救急受入件数の増加【総合・西和】	期中	前年度より増加
		⑤ 糖尿病医療の充実	主要	糖尿病医療に係る非専門医からの紹介件数の増加【総合・西和】	期中	前年度より増加
			関連	糖尿病専門医の確保【総合・西和】	期中	総合2人以上
			関連	糖尿病専門医による治療患者数の増加【総合・西和】	期中	前年度より増加
		⑥ 精神医療の充実	主要	精神・身体合併症患者受入件数の増加【総合】	期中	年間30件以上
			関連	精神科救急受入件数の増加【総合】	期中	年間16件以上
	⑦ 感染症医療の充実	主要	感染症患者入院要請応需率100%の維持【総合】	期末	100%	
		関連	緊急対応を常時想定した体制の強化【総合】	期中	体制の強化	
	3 リハビリテーション機能の充実 リハは、奈良県の回復期医療の基幹病院としてその機能を充実すること。また、総合・西和は、急性期におけるリハビリテーション機能を充実すること。		主要	急性期リハビリテーション実施件数の増加【総合・西和】	期中	前年度より増加
			主要	機能的自立度評価法による得点の上昇（入院前後におけるADLの改善）【リハ】	期中	前年度より上昇
			関連	在宅復帰率の高水準の維持・向上【総合・西和・リハ】	期中	前年度より向上
	4 医療安全の確保・院内感染の防止 3病院は、患者が安心して医療を受けられるよう、医療安全の確保及び院内感染防止のための対策を徹底すること。		主要	患者調査で「安心して医療を受けられた」と回答した割合（入院・外来別）の向上	期末	入院・外来とも90%以上
			関連	医療安全確保のための体制強化と職員の意識向上	期中	体制強化と意識向上
			関連	院内感染防止のための体制強化と職員の意識向上	期中	体制強化と意識向上
			関連	入院患者のMRS A感染率の低下	期中	前年度より低下
	5 西和医療センターのあり方の検討 他の医療機関との連携・役割分担など、将来に向けた西和医療センターのあり方の検討について、県と病院機構が連携して進めること。		主要	県と病院機構が連携して西和医療センターのあり方を検討	-	-
関連			西和医療センターと総合・リハ・他の医療機関との連携・役割分担の推進	-	-	

II 地域の医療力向上への貢献 3病院は、地域の医療機関との役割分担と連携強化を進め、地域の医療機能向上に貢献するとともに、災害医療体制の強化を図ること。また、県民への医療・健康情報等の提供を積極的に行うこと。	1 地域の医療機関との役割分担と連携強化 総合は北和地域、西和は西和地域における医療拠点として、奈良県地域医療構想に基づいて他の医療機関との役割分担・連携強化を進めること。	主要 患者の紹介率（入院・外来別）の向上 関連 紹介患者数（入院・外来別）の増加	期中 前年度より増加 期中 前年度より増加		
	2 地域の医療機能の向上のための支援 研修セは、地域の医療従事者の資質向上のための取組を充実し、総合・西和・リハにおいても地域の医療従事者との連携や支援の取組を充実すること。また、看専は卒業生の県内就業を促進すること。	主要 患者の逆紹介率（入院・外来別）の向上 関連 逆紹介患者数（入院・外来別）の増加	期中 前年度より増加 期中 前年度より増加		
		関連 平均在院日数（一般病床）の短縮【総合・西和】	期中 前年度より短縮		
		関連 地域医療連携のための会議の参加回数の増加	期中 前年度より増加		
		主要 教育研修センターにおける地域の医療従事者の資質向上のための取組の充実【研修セ】 主要 地域の医療従事者に対する研修の受講者数の増加【総合・西和・リハ】 主要 看護専門学校卒業生の県内就業率100%達成を目指す【看専】 関連 医療従事者の短期・長期研修の受入数の増加 関連 地域の医療従事者に対する研修の実施回数の増加	期中 資質向上の取組の充実 期中 前年度より増加 期末 100%達成を目指す 期中 前年度より増加 期中 前年度より増加		
		3 災害医療体制の強化 総合は北和地域における地域災害拠点病院として、また、西和・リハにおいても各地域の地域災害拠点病院等と連携して、災害発生時に迅速・的確に対応できるよう、それぞれ災害医療体制を強化すること。	主要 関係機関や地域と連携した災害医療訓練の実施 関連 DMATチーム数の増加【総合・西和】	期末 年間9回 期末 総合6チーム以上 西和3チーム以上	
	4 県民への医療・健康情報等の提供 3病院の医療内容や県民の健康の保持増進に資する情報などを、県民に積極的に発信すること。また、3病院の医療機能を積極的に広報するとともに、経営状況や臨床指標など法人運営の状況の「見える化」を推進すること。	主要 公開講座受講者者調査で「有意義だった」と回答した割合の向上【総合・西和・リハ】 関連 県民向け公開講座の受講者数の増加【総合・西和・リハ】 関連 経営状況や臨床指標、各病院の医療機能などの「見える化」の推進	期末 90%以上 期中 前年度より増加 期中 積極的な広報		
		III 最高レベルの医の心と技をもった人材の確保・育成 患者にとって最適な医療を提供するため、最高レベルの医の心と技をもった人材を確保・育成すること。また、職員が仕事にやりがいを持てる、働きやすい環境づくりを推進すること。	1 最高レベルの医の心をもった人材の確保・育成 患者に寄り添い、患者の気持ちを理解できる人材を確保・育成すること。	主要 患者調査で「患者の気持ちを理解しよう」と対応した割合（入院・外来別）100%達成を目指す 関連 ホスピタリティ研修の参加人数の増加 関連 ホスピタリティ研修後受講者アンケートで「自身のホスピタリティ向上に役立った」と回答した割合の向上	期末 100%達成を目指す 期中 前年度より増加 期中 前年度より向上
			2 最高レベルの医の技をもった人材の確保・育成 県民の期待に応える優れた医療技術をもった人材を確保・育成すること。	主要 専門医数の増加 主要 専門（又は認定）看護師数の増加 関連 初期臨床研修医マッチ率の向上 関連 専攻医数の維持 主要 看護専門学校現役卒業生の看護師国家試験合格率100%の維持 関連 特定行為研修受講者数の増加	期末 150人 期中 前年度より増加 期末 90%以上 期末 30人 期中 100% 期末 5人以上
	3 働き方改革の推進 職員一人ひとりが仕事にやりがいを持てる、ワークライフバランスにも配慮した働きやすい環境づくりを推進すること。			主要 職員調査で「仕事にやりがいを感じている」と回答した割合の向上 関連 職員調査で「ワークライフバランスが図れている」と回答した割合の向上 関連 男性の育児休業取得率の向上 関連 年次有給休暇取得日数の増加 関連 復職支援実習の参加人数の増加 関連 看護師在職率の維持 関連 超過勤務の縮減 主要 障害者雇用率の向上	期末 90%以上 期末 90%以上 期末 13%以上 期末 10日以上（/年・人） 期末 10人以上（/年） 期末 離職率9.1%以下 期中 前年度より縮減 期末 2.7%以上

IV 自立した法人経営	1 権限と責任を明確にしたガバナンス体制の確立		主要	第2期中期目標に掲げる目標の達成	期末	目標達成
<p>持続可能で自立した法人経営の実現のため、病院機構のガバナンス体制を確立し、より一層経営改善に取り組み、また、経営感覚・改革意欲に富んだ人材を育成・確保すること。</p>	<p>法人経営に対する権限と責任を明確にしたガバナンス体制を確立し、職員一丸となって第2期中期目標・中期計画の達成を図ること。</p>		関連	職員の中期目標・中期計画の理解度100%を目指す	期末	100%を目指す
	<p>2 持続可能な経営基盤の確立</p>	① 財務内容の改善	主要	経常収支比率の改善（上昇）	期中	前年度より上昇
	<p>奈良県地域医療構想・奈良県医療費適正化計画との整合のもと、収益の確保と費用構造改革の徹底によって一層の経営改善を図り、持続可能な経営基盤の確立を図ること。</p>	① 財務内容の改善	関連	繰越欠損金の縮減	期末	2017年度末額(10,988百万円)より縮減
		① 財務内容の改善	関連	医業収支比率の改善（上昇）	期末	前年度より上昇
		② 収益の確保と費用構造改革の徹底	主要	医業収益に対する材料費比率の改善（低下）	期中	前年度より低下
		② 収益の確保と費用構造改革の徹底	関連	医業収益に対する職員給与費比率の改善（低下）	期中	前年度より低下
		② 収益の確保と費用構造改革の徹底	関連	医業収益に対する経費比率の改善（低下）	期中	前年度より低下
		② 収益の確保と費用構造改革の徹底	関連	後発医薬品の使用割合の高水準の維持	期末	94%以上
		② 収益の確保と費用構造改革の徹底	関連	地域の医療機関との連携を図りつつ、経営状況に応じて計画的に稼働病床を増加【総合】	期末	540床
	<p>3 経営感覚・改革意欲に富んだ人材の確保・育成</p>		主要	事務部門におけるプロパー職員の割合の向上	期中	前年度より向上
	<p>持続可能で自立した法人経営を目指して経営感覚と改革意欲に富んだ人材を確保・育成すること。</p>		関連	経営改善・業務改善に向けた職員提案件数の増加	期中	前年度より増加